



医療安全通信 第65号

【薬局部 医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

## エイベリス点眼液の投与禁忌患者について

PMDA（医薬品医療機器総合機構）より、エイベリス点眼液0.002%について「製薬企業からの医薬品の適正使用等に関するお知らせ」が紹介されています。

原文は、<https://www.pmda.go.jp/files/000230695.pdf>よりご確認ください。

**「無水晶体眼 又は 眼内レンズ挿入眼 の患者」は 禁忌 です。**

**エイベリス点眼液0.002% の 投与時 に**

**「無水晶体眼又は眼内レンズ挿入眼の患者」に 該当しないことを**

**確認してください。**

エイベリス点眼液0.002%（一般名オミデネパグ イソプロピル）は、EP2受容体に選択的に作用して眼圧下降作用を示す、緑内障、高眼圧症を適応とした点眼液です。

国内で実施された本剤の臨床試験の結果より、本剤を「**無水晶体眼又は眼内レンズ挿入眼の患者**」に投与した場合、**黄斑浮腫が発現する可能性が高い**ことから「無水晶体眼又は眼内レンズ挿入眼の患者」は禁忌に設定されています。

「無水晶体眼」、「眼内レンズ挿入眼」とは、白内障手術を受けた眼のことです。白内障手術は白く濁った水晶体を除去する手術で、多くの患者は水晶体の代わりに視力を矯正するために眼内レンズを挿入します（眼内レンズ挿入眼）。水晶体を支えるチン氏帯が脆弱などの理由で眼内レンズの挿入が難しい患者では、無水晶体のまま眼鏡等で矯正されることもあります。なお、**片眼のみ白内障手術を受けている患者も禁忌に該当するので**、投与を避けなければなりません。

また、**白内障手術前には、エイベリス点眼液の投与の中止が必要**です。本剤は眼内組織中の半減期が短く（ $t_{1/2}$ ：3.99～10.6時間）、眼圧コントロールに余裕があれば3日以上空けることが望ましいと考えられます。ただし、眼圧コントロールに余裕がない場合は、あらかじめ使用経験が豊富な他の緑内障・高眼圧症治療薬へ切り替えておくことが望ましいと考えられます。

2018年11月の発売開始から2019年5月26日までの市販直後調査期間中（推定使用患者数延べ7万人）に禁忌症例（眼内レンズ挿入眼への投与）が57例あり、また、同期間中に嚢胞様黄斑浮腫を含む黄斑浮腫は23例報告され、そのうち眼内レンズ挿入眼の患者が10例報告されました。

嚢胞様黄斑浮腫発症眼では多くの場合、視力低下や見えづらい等の自覚症状を伴います。患者が見え方の変化を訴え、嚢胞様黄斑浮腫が疑われる場合は、直ちに受診するよう指導してください。浮腫が慢性化すると徐々に網膜の神経細胞が障害を受け、視力の改善が遅れる、あるいは完全な回復が認められないことがありますので、早期の発見及び治療開始が大切です。薬歴や患者へのインタビュー等により、以下の点について確認し、疑義が発生した時は主治医に問い合わせましょう。

### ★ エイベリス点眼液の投与時に確認すること

- ✓ 無水晶体眼 又は 眼内レンズ挿入眼ではないか？
- ✓ 白内障手術歴を有さないか？
- ✓ 白内障手術の予定がないか？
- ✓ 自覚症状（視力低下、霧視、歪み等）の確認

#### ＜ 引用資料 ＞

- ・エイベリス点眼液0.002%適正使用ガイド
- ・参天製薬株式会社ホームページ よくあるご質問 ～エイベリス点眼液～

旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料、リンク先を掲載しています。

